藍で繋がる伊達愛プロジェクトの実施について

１　目　的

本校では、４年前から伊達市の古き良き伝統や文化を知るために、伊達市の伝統工芸の一つである「藍染め」を研究してきた。そして先人の思いや技術等を少しでも伝承することで、本校の職業学科としての特性を活かして伊達市へ貢献することができ、伊達市の地域活性化の糸口に繋がるという思いの中で実践してきた。

藍染めに関わる作業工程については、本校の教育課程上及び教場（農場）における藍の作業には限界があり、現状以上の作業（藍の生産性）を展開する困難さが課題となっている。そこで、本校と伊達市がコラボレーションして藍の播種、そして苗を栽培から収穫、藍染めまで一緒に取り組むプロジェクトを立ち上げることとした。それが、『藍で繋がる伊達愛プロジェクト』である。本プロジェクトは、内容に賛同してくれる伊達市民や各幼・小・中・高校及び施設、企業等の協力を得て、各々が『藍を栽培、管理して育て収穫して本校へ届けてもらう』というものである。藍の播種からポット上げまでは、本校農業科と園芸科の生徒が授業で取り組み、希望する方へ藍の苗を預け、育てもらい収穫できるころに本校へ持ち寄っていただくというものである。これにより、藍の生産性は向上し、安定した藍染め作業が確保できる。そして生徒にとってより良い学びの機会となることだけではなく、学校と地域が一つとなり取り組むことで、伊達市の地域活性化の向上に繋がり、伊達市が掲げる『第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」にある３つの視点①地域資源を生かした産業を育て雇用を生み出す。②選ばれる「市民幸福度最高のまち」となる環境をつくる。③生涯健康社会の実現。にも繋がると考えている。

将来、このプロジェクトを通して伊達市民の障害者理解が今以上に進み、本校生徒が伊達市をはじめ、伊達教育委員会や藍農家等への一般就労の道を切り拓くことができれば、伊達市におけるノーマライゼーションの深化につながり伝統や文化を継承し、伊達市が掲げる『２０６０年の伊達市「こころ」も「からだ」も健康に暮らせるまち　健康に暮らすなら伊達市』のビジョンに繋がるプロジェクトと考えている。

２　時　期

７月６日（火）１０：００～１３：００

３　実施場所　伊達歴史文化ミュージアム前広場

４　実施方法

「藍育ファンディング」による取り組み　希望者１名に対して１ポット～３ポット１００名限定

※藍育（あいいく）ファンディングとは：クラウドファンディングは、その目的に賛同する人がお金を出資し、できた製品を返礼品としてもらうシステムである。この考え方を活用し、本目的に賛同する市民等へ藍の苗を渡し収穫まで育ててもらう。そして収穫時期に本校へ持ってきていただく。（もしくは取りに伺う。）収穫した藍の返礼品として、本校の製品を渡す。

（※藍染め前なので、今ある製品の中から返礼品とする）

５　当日の流れ

７月５日（月）　３００ポット準備完了

７月６日（火）　９：００　学校出発

９：３０　ミュージアム前到着、準備開始

１０：００　プロジェクト開始　対応

１３：００　終了　昼食・休憩

１４：００　後片付け

１５：００　学校着

６　プロジェクトの流れ図

